

きらめき朝日

令和元年 5 月 30 日発行 第 2 号
校長 丹羽英樹

学校校運営協議会を開催しました

5 月 13 日、今年度第 1 回の学校運営協議会を開催いたしました。町内の各小中学校は昨年 4 月に、朝日町教育委員会からコミュニティ・スクールに指定され、本協議会が各学校に設立されました。本協議会は、地域や保護者の代表者 8 名が委員となり、学校と地域が学校教育目標や課題を共有するとともに、一体となって次代を担う子どもを育む学校づくりの中核をなす組織です。



今回の協議会では、次のような内容について協議され、様々なご意見が出されました。今後の学校経営に生かしてまいります。

(1) 学校経営の基本方針について

(2) 熟議①基本的な生活習慣の確立について ②自律と社会貢献の醸成について

<主なご意見>

○学校経営について

- ・より分かりやすい授業づくりのため、現状を確実に把握し改善に役立てる必要がある。

○基本的な生活習慣の確立について

- ・自己の計画力を高めるには、睡眠や休養の取り方など科学的根拠に基づく指導の充実が必要である。
- ・地域とともに実践できるのは、挨拶などのコミュニケーションである。挨拶など当たり前の社会性を培っていききたい。



○自律や社会貢献を育むために

- ・実際に活動してみてわかるドキドキ感、ワクワク感がある。体験活動など実体験は、子供の記憶に残りやすく変容や成長につながる。（自律）
- ・地域の祭りなどへの積極的な参加が大切である。（社会貢献・郷土愛）
- ・5 月初旬に地区の資源回収があった。ここ数年、中学生の参加率が上がり、9 割以上の中学生が参加しており好ましい状況である。
- ・労働者の 8 割は当初希望した仕事とは違う職に就いている。また AI の発達により今ある職種の 6 割は消滅し、他の新職業が生まれると言われている。現存しない仕事の見つけ方についても生徒に身につけさせたい。（社会参画）

<第 2 次朝日町教育振興計画>

- ・基本目標

「ふるさと朝日町を想い 自信と誇りに満ち 未来を拓く たくましい人づくり」

がんばった地区駅伝大会

5月10日、大谷小学校隣の交遊館周辺の秋場山周回コースにおいて、西村山中学校駅伝競走大会が開催されました。当日は、気温25度前後の少々暑い中、男子6区間、女子5区間での襷リレーを競いました。結果は、男子6位、女子4位と、残念ながら県大会出場はなりませんでしたが、最後の最後まであきらめない走り、そして、選手とサポート選手が一体となった熱い戦いを見せてくれました。駅伝メンバーの皆さん、お疲れ様でした。今回の頑張りを6月の地区総体につなげましょう。

<朝日中駅伝メンバー>

男子 3年生4名、2年生4名、1年生2名

女子 3年生2名、2年生3名、1年生2名



中庭の植栽活動が始まりました。町花“ヒメサユリ”も満開

中庭の「人権の花」植栽活動が始まりました。この活動は朝日町人権擁護委員会のご協力をいただき毎年実施しているものです。花の植栽や手入れ等のふれあいを通して、生命を大切にする気持ちや思いやりを育むのがねらいです。

5月20日(月)、人権擁護委員の皆様3名をお迎えし、3年生が中庭へのベゴニアやニチニチソウの植栽活動を行いました。生徒らは噴水の周りの花壇に、バランスよく苗を配置し、移植ベラでの穴掘り、植え付け、注水と手際よく行いました。また、植え付けの前に人権擁護委員の方から、SNSの適切な使用方法についてもお話を頂きました。

1, 2年生もそれぞれ、28日と23日に、各クラスに割り当てられた花壇に植え付けを行いました。今後は、各クラスの当番による毎日の水かけ等を行い育てていくことになります。

また、5月8日(水)、町のヒメサユリ愛好会の3名の方がご来校くださいました。中庭で一冬越した町花ヒメサユリの状態を確認し、手入れをしていただきました。そして、19日頃から咲き始め、27日頃、見事に満開となりました。

